

「（仮称）宇都宮市デジタル社会形成ビジョン」における  
「本市のデジタル活用に係る主要な課題」及び  
「デジタル活用の基本理念」、  
「デジタル活用の方向性（柱）」等について

令和4年9月28日  
宇都宮市地域情報化推進懇談会  
ビジョン検討チーム

### 【説明資料】

- 「（仮称）宇都宮市デジタル社会形成ビジョン」の骨子（案）⇒別紙 1
- 「宇都宮市のデジタル化の推進に関する意識調査」の結果の概要⇒別紙 2
- 本市のデジタル活用に係る主要な課題の導出について⇒別紙 3



- 「ビジョン」の主な項目（「本市のデジタル活用に係る主要な課題」、「デジタル活用の基本理念」、「デジタル活用の方向性（柱）」）について、ご意見をいただく。

## 第3章 本市のデジタル活用に係る主要な課題について (別紙1 1ページ目右下部分, 別紙2, 別紙3)

- 宇都宮市のデジタル化の推進に関する意識調査
- 市民協働に関する意識調査
- 宇都宮市中小企業実態調査  
⇒各調査結果から、現状や課題等を把握

「宇都宮市地域情報化推進懇談会」委員の皆様からの意見をもとに、地域における課題を整理

- ①DXの推進に向けた環境の構築
- ②デジタルデバイド対策の強化
- ③デジタル人材の活用
- ④データ利活用とセキュリティ対策の強化

### 【ご意見をいただきたいこと】

- 課題の導出について、皆様からいただいた意見などと現状の課題の捉え方に相違がないか。

本市の目指すべき姿は、「子どもから高齢者まで誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』」である。

- 「スーパースマートシティ」の実現に向け、「デジタル」は原動力として位置付けている。
- デジタル化することが「目的」ではなく、「NCC」及び「3つの社会」の中で、様々な課題解決や目標実現の「手段」として「デジタル」を効果的に活用し、取組の効果をより一層高めていき、他の社会への波及・相乗効果を発揮できるようにしていくことが重要

- 官民が連携し、市民の誰もがデジタルの恩恵を享受できる環境を構築するとともに、デジタルによる変革（DX）を通じて、新たなまちの活力を創出するなど、より良い本市の未来（スーパースマートシティ）を共創していくことを「デジタル活用の基本理念」として掲げていく。

### 【デジタル活用の基本理念】

「人に優しく まちを元気に 未来を創る 雷都のデジタル」

### 【ご意見をいただきたいこと】

- 「基本理念」として、市民にわかりやすく、伝わりやすい内容となっているか、また、他に盛り込むべき要素などがいないか。

## ● 「デジタル活用の方向性（柱）」の基本的な考え方

「ビジョン」における「デジタル活用の方向性（柱）」は、「デジタル活用の基本理念」に基づき、取組の概要を示すものであり、市民へのわかりやすさの観点から、本市の目指す「スーパースマートシティ」の構成要素である「3つの社会」と「NCC」の4つの柱とし、それぞれの構成要素に貢献すると考えられるデジタル化の取組の方向性を示していく。

方向性Ⅰ 「地域共生社会」に貢献するデジタル

方向性Ⅲ 「脱炭素社会」に貢献するデジタル

方向性Ⅱ 「地域経済循環社会」に貢献するデジタル

方向性Ⅳ 「まちの基盤 NCC」に貢献するデジタル

- 「デジタル活用の方向性（柱）」では、「目指す社会像」の実現に資するデジタル活用のポイントや、各社会の中で「デジタルを活用して実現する姿」を示していき、その方向性に基づきながら、行政をはじめ、各主体がデジタルを効果的に活用していくことで、本市の目指す「スーパースマートシティ」が実現していくものと考えている。
- 「その実現に向けた取組の方向性」は、「デジタルを活用して実現する姿」に向けて、概ね5年以内に想定される取組（技術）を記載している。

## 第5章「デジタル活用の方向性（柱）」の「横断的な取組」について （別紙1 2 ページ目中央部分）

### ◆横断的な取組について

- 「デジタル活用の方向性（柱）」に基づき、あらゆる分野でデジタルを効果的に活用していくためには、それぞれの分野等でデジタル化を牽引し、実装・活用していくことができる「デジタル人材」が必要
- また、デジタル化の進展による多様かつ膨大なデータが新たな価値創造の源泉であり、デジタル社会を形成していく上で重要な「礎」となることから、戦略的にデータを利活用していくことが必要

⇒ 今後、デジタル化を推進していくにあたり、必要不可欠な要素であり、全分野に共通する「デジタル人材の育成・確保」及び「戦略的なデータの利活用」を「横断的な取組」として位置付けていく。

### 【構成イメージ】



**【ご意見をいただきたいこと】**

- 「デジタル活用の方向性（柱）」や「横断的な取組」の考え方が適切であるか、また、それぞれの「その実現に向けた取組の方向性」に追加する事項等がないか。
- 地域の皆様と共有するビジョンとしていくためには、どのような状態を目指していくのか市民目線でわかりやすく示していく必要があると考えているが、どのような示し方（ビジョン全体の見せ方や各主体の役割を記載していくなど）が望ましいか。

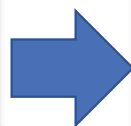
# 今後のスケジュール

## 【ビジョン・タスク策定のスケジュール】

|             | R4.9月           | R4.10月       | R4.11月                    | R4.12月    | R5.1月  | R5.2月 | R5.3月 |
|-------------|-----------------|--------------|---------------------------|-----------|--|-------|-------|
| 懇談会         | 第2回懇談会<br>(骨子案) |              | 第3回懇談会<br>(素案)            |           | ※第4回懇談会<br>パブリックコメントの意見内容等によっては、必要に応じて懇談会を追加開催 |       |       |
| ビジョン<br>タスク |                 | 意見反映<br>素案作成 | 情報化推進本部<br>「本部会議」<br>(素案) | パブリックコメント | 情報化推進本部<br>「本部会議」<br>(最終案)                     | 策定・公表 |       |

## 【今後の進め方】

- 本日いただいた意見等を踏まえ、「ビジョン」素案を事務局が作成



### 【第3回宇都宮市地域情報化推進懇談会の内容】

- 「ビジョン」素案の内容確認
- 「ビジョン」の成果指標、推進体制について
- 「タスク」素案の報告



# 【参考】本市が目指す「スーパースマートシティ」について

◎ 2030年頃を見据えた具体的なまちの姿

## 『スーパースマートシティ』



「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち」

### 【「スーパースマートシティ」の構成イメージ】

持続可能な都市構造である「NCC」を基盤としながら、「地域共生社会」（社会）、「地域経済循環社会」（経済）、「脱炭素社会」（環境）の3つの構成要素が融合し、「人」と「デジタル」を原動力に発展を続けられるまち

